

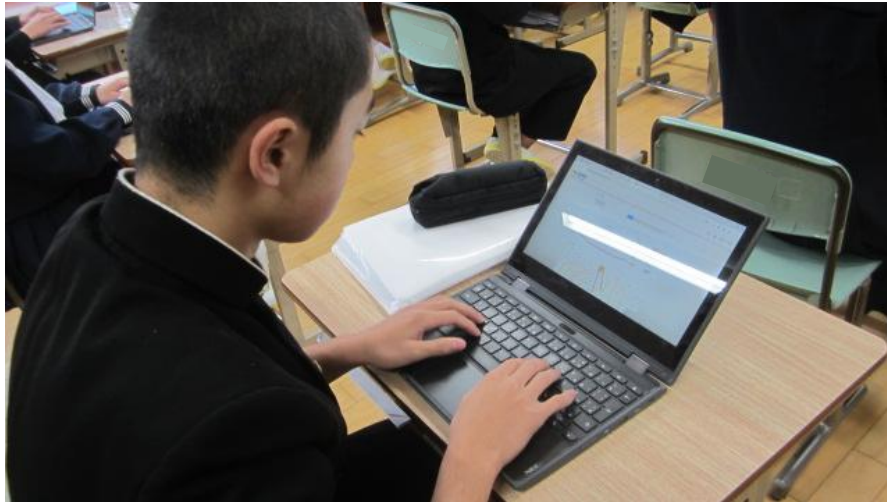
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

武雄市立武雄北中学校（佐賀県）【指定校】

【取組内容②】 情報活用能力の育成（朝の活動でのタイピングの取り組みについて）

【取り組みの概要】

朝の活動の時間（北中クリエイトタイム）の一環として、毎週水曜日と木曜日にタイピング練習を設定した。また、年に3回、生徒会の生活安全部が「タイピンググランプリ」を企画し、タイピングの腕を全校生徒で競っている。



タイピング練習の様子

No	名前	スコア	
1		373	
2		227	
3			
4		317	
5		318	
6			
7		234	
8		339	
9		369	
10		276	
11		521	
12		204	
13		76	

🏆 ランキング 🏆		
🥇	846	
🥈	802	
🥉	663	
4位	584	
5位	541	
6位	526	
7位	521	
8位	509	
9位	488	
10位	480	

タイピンググランプリ結果

【目指す生徒の姿】

タイピング練習を通して、キーボード入力能力を上げることで、

- ①自分の思考を正確かつ迅速に表現できる。
- ②キーボード入力にかかる時間が短縮され、作業効率を向上させ、その他の活動や思考する時間が増える。

【生徒の変容】

- ・1年間タイピング練習を続けたことで、タイピングの平均スコアが345.2点から463.8点に上昇した生徒もいた。
- ・授業では、タイピングが苦手なために表現などの活動を敬遠する生徒が減少した。